

令和3年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	06 文化 ー魅力の発信と人々の交流を通し、未来につながる文化を創造するまちを目指しますー		
重点プロジェクト		元気・健康づくりプロジェクト		
主管課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	本橋 直人	
		評価日	令和3年6月4日	
関連課	市民課、市民総合窓口課、協働推進課、学校教育課、社会教育課（公民館）			
目標	文化芸術を通して多様な市民の交流を図るとともに、ふじみ野市の文化的な魅力を発信することで地域の活性化につなげます。また、市民と文化芸術とをつなぐ人材や団体の育成を図ります。			
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 文化的な魅力の発見・発信 ○市内のアートスポットやアーティスト、ユニークな取組など、市の文化的な魅力を市民参加により発見・発信し、地域の活性化につなげます。</p> <p>(2) 文化の担い手の育成 ○次世代の文化創造を担う子どもの豊かな心や創造性を育むため、子どもの頃から文化芸術に触れる機会を充実します。 ○市民と文化芸術をつなぐコーディネーター、ボランティアなどの育成を進めます。</p> <p>(3) 文化芸術に出会う機会の提供と交流促進 ○文化芸術を通して、子育て世代、高齢者、障がい者、外国籍市民など多様な市民の交流を促進します。 ○多くの市民がいきいきと文化芸術活動に取り組める環境づくりを進めます。</p> <p>(4) 文化施設の維持管理・整備 ○市民がステラ・イースト及び産業文化センターなどを快適に利用できるよう維持管理を行います。 ○文化施設整備基本構想・基本計画及び管理運営計画に基づき、施設の整備を進めるとともに維持管理・運営の準備を進めます。</p>			

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	文化芸術を通して多様な人が出会う交流促進事業への参加施設・団体数					
		説明	文化芸術を通して多様な人が出会う交流事業に企画段階から参加する団体数により交流の促進度を計る。新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン開催など工夫した結果、参加団体等の数が増えている状況である。					
		単位	施設・団体					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	4	5	6	9	12	15
		実績値	5	16	15	21		
	指標 2	指標名	市民と文化芸術をつなぐコーディネーター育成数					
		説明	学校等と芸術家を結び、事業の企画・運営・実施等を芸術家とともに支援するコーディネーターを育成することにより文化芸術に触れる機会の拡充を図る。専門性の高いアーティストを発掘し徐々に増えている状況ある。					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	3	5	8	8	8	8
		実績値	0	2	2	3		
	指標 3	指標名	文化芸術事業への参加者数					
		説明	市民が身近な環境で参加できる文化芸術の必要性を文化事業への参加者数で計る。令和3年度は事業を中止せずオンライン開催、ライブ開催等を工夫し新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら開催した。					
		単位	人					
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	4,860	5,090	5,340	5,600	5,880	6,170	
	実績値	7,100	6,090	0	4,316			
指標 4	指標名	(仮称)東地域文化施設多目的棟整備事業の進捗率						
	説明	(仮称)東地域文化施設多目的棟の整備事業の進捗率を指標とする。令和3年2月19日に工事が完了し、令和3年4月1日にリニューアルオープンした。						
	単位	%						
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	10	40	100				
	実績値	10	40	100				
指標 5	指標名	(仮称)西地域文化施設整備事業の進捗率						
	説明	(仮称)西地域文化施設の整備事業の進捗率を指標とする。令和3年度は実施設計を進めるとともに、令和3年10月に旧大井中央公民館の解体工事が完了し、新施設の山留及び土壌改良、地下配筋工事等を行った。						
	単位	進捗率(%)						
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	0.00	0.00	1.00	15.00	75.00	100.00	
	実績値	0.00	0.00	0.70	12.00			

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	16,395	85,593	1,080,483	572,987	3,540,005	
	人件費	22,461	23,572	29,367	38,294	43,083	
収入	特定財源	579	21,241	1,025,158	484,222	3,450,639	
	一般財源	38,277	87,924	84,692	127,059	132,449	

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	文化芸術による交流促進事業	新型コロナウイルス感染症の状況によりオンライン、ライブ開催など工夫した。特にアートフェスタは動画配信・ライブ配信で開催した。新規にステラ・イースト魅力発信事業として、ホール活用事業、アート系ワークショップを開催し、ステラ・イーストの活用を進めた。	YouTubeを活用したアートフェスタ動画配信では1か月3,930回、ライブ配信1,349回、年間視聴数18,533回、チャンネル登録者数371人の実績である。ホール活用事業は2回、アート系ワークショップは8回ライブで開催した。	文化振興事業
取組②	アウトリーチ事業	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら市内小学校1校から派遣要請があり音楽家2名によるフルート、チェンバロのレクチャーと演奏を実施した。(福岡小学校4年生音楽授業)。また、アウトリーチ研修会として動画作成研修会を開催した。	普段触れることのできない楽器の音色や授業で習う曲の演奏を体験できたことで、次世代の文化芸術を担う子どもの豊かな心や創造性を育んだ。3クラス90人参加。アウトリーチ動画作成研修会参加者10名。	文化振興事業
取組③	文化の魅力発見・発信	アート発見・発信プロジェクトとして市民との協働により「ART88vol.7」を発行した。また、本庁舎のギャラリー及び大井総合支所の展示スペースの貸出しでは、展示期間の空きがないほど市民に活用されている状況である。	市内に埋もれているアートプレイスやアーティストを市民目線で継続的に掘り起こし発信するとともに、小中学校、包括連携協定を締結している大学等に作成した冊子を配付することで、市の魅力を高め、地域の活性化につながる効果を生み出した。	文化振興事業
取組④	文化芸術活動未来応援事業	市内の若手芸術家やアーティスト等の自主的・創造的な文化芸術活動を支援し、乳幼児からシニア、障がいのある方まで、全ての世代を対象とする文化芸術事業を提供する。	令和2年度延期した4事業と令和3年度採択した3事業を合わせ7事業を計画した。新型コロナウイルス感染症の状況により1事業を令和4年度へ延期し、6事業を開催した。ホール座席数の半減も行ったが、市民が気軽に文化芸術に親しめる機会を提供することができた。	文化振興事業
取組⑤	文化施設の整備	ステラ・イースト多目的棟のリニューアルオープンとともに、西文化施設の実施設計を進めた。文化施設の整備については、令和3年10月に旧大井中央公民館の解体工事が完了し、新施設の山留及び地盤改良、地下配筋工事等を実施した。	令和3年4月にステラ・イースト多目的棟がリニューアルオープンし、市民の文化芸術活動等の拠点としての役割を担っている。また、西文化施設及び東文化施設のホールを建替えることにより、文化と人の交流拠点を実現する。	文化施設整備事業

5. 評価

評価	
指標の達成状況	令和3年度も新型コロナウイルス感染症が拡大している中で、事業は中止せず、オンライン開催やライブ開催など工夫して開催した。「アートフェスタふじみ野」は動画配信とライブ配信を並行して行うなど、状況に応じた事業展開を開催することで、文化芸術に触れる機会やコミュニティづくりの機会を提供している。
おおむね順調	また、ライブ開催時の感染症対策や事業規模を見直すなど事業の実施に向けた検討を行い、新型コロナウイルス感染防止対策マニュアルを作成した。令和3年4月リニューアルオープンしたステラ・イーストを拠点に文化芸術事業を展開するため、ステラ・イーストホール活用事業、アート系ワークショップなど質の高い事業を展開し、文化芸術事業を担う人材やボランティアスタッフを育成し、地域に根ざした文化芸術活動を展開し、地域の活性化につなげることができた。
行政資源の活用	文化施設の整備については、令和2年2月にステラ・イースト多目的棟の大規模改修工事が完了し、令和3年4月から文化と生涯学習の拠点として、多くの方が利用している。文化施設の整備については、西文化施設の実施設計を進めるとともに、令和3年10月に旧大井中央公民館の解体工事が完了した。その後、新築工事として、山留及び土壌改良、地下配筋工事等を行った。市民が集い、賑わいのある文化と人の交流拠点となる施設の整備を進めることで、未来につながる文化を創造するまちを目指す。
おおむね適切	
取組の有効性	
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	文化振興事業		前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	06 文化 ー魅力の発信と人々の交流を通し、未来につながる文化を創造するまちを目指しますー		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費			
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世	
事務事業期間	平成17年度～	評価日	令和4年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	文化芸術振興基本法、文化・スポーツ振興条例、絵画等展示要綱、後援等承認手続きに関する要綱、文化振興計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	全ての市民を対象に、身近な環境のなかで文化・芸術等に触れる機会を提供するとともに文化活動の環境整備を図り、市民の自主的・創造的な文化活動を推進し活力ある地域社会の実現をめざす。 また、新文化施設事業推進のため「文化施設整備基本構想・基本計画」及び「文化施設管理運営計画」を策定するとともに、「第2期文化振興計画」を策定し、これらの計画の理念を実現していく。		
	事務事業の経緯	平成26年度より文化振興事業の主管課を協働推進課から文化・スポーツ振興課に移管し、平成27年10月1日「ふじみ野市文化・スポーツ振興条例」を制定した。 また、平成28年度に「ふじみ野市文化振興計画」を策定し、文化振興審議会へ施策の具現化に向けた諮問を行いながら、文化振興施策を総合的に展開している。		
	事務事業の概要	①平成28年度に策定した文化振興計画に基づき、文化振興事業に取り組む。 ②平成29年度文化振興審議会の答申「文化芸術振興の財源確保の在り方及びその効果的な活用」を受け具体的な制度を構築するため、平成30年度も文化振興審議会へ「文化振興に係る助成制度のあり方について」を諮問し、4回にわたる審議を経て「文化芸術振興未来応援事業」として答申を受け、令和元年度から文化芸術振興の新たな助成制度を構築した。 ③市民の文化活動支援の一環として市民に公共施設展示スペースを貸出し、発表の場を提供する。		
	令和3年度の主な取組	新型コロナウイルス感染拡大により観客を入れた事業ができないなか、オンライン配信「アートフェスタ（ライブ配信含む）」の開催など工夫しながら事業を進めた。この経験を活かし、感染症防止対策マニュアルを策定し、ホール等の事業実施に向け対策も進めた。事業の取組では、ステラリスト魅力発信事業「ホール活用事業2回、アート系ワークショップ事業7回」、文化芸術活動未来応援事業「令和2年度延期事業3件、令和3年度事業3件」、小学校へのアウトリーチ事業「福岡小学校1回」、KDDI総合研究所共催による中高生対象「未来創造ラボ」1回などを実施した。また、市民編集員によるアート発見・発信編集発行事業ではVol7号の発行や市民ギャラリーの活用促進が図られた。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	0.40	0.80
		人件費	4,029	3,180	6,359
	再任用職員	従事人数(人)	0.40	0.80	0.70
		人件費	2,121	4,048	3,542
会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.49	0.80	1.00	
	人件費	1,036	1,003	2,683	
人件費計		7,186	8,231	12,584	
事業費	報酬※	1,002	952	2,206	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	250	512	716	
	委託料	1,506	5,141	8,524	
	使用料及び賃借料	426	417	481	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	17	878	2,407	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	1,336	385	1,578		
支出合計		10,687	15,513	25,813	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	725	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	259	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	55	1,164	4,523
		その他	23	867	2,079
一般財源		9,625	13,482	19,211	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		84	118	165	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	文化芸術を通して多様な人が出会う交流促進事業への参加施設・団体数		
	説明	文化芸術を通して多様な人が出会う交流事業に企画段階から参加する団体数の数により交流の促進度を図る。交流促進事業に参加、協力等を行う企業・団体等の数を指標としている。令和3度はアートフェスタ参加団体数。(出演団体13、実行委員会8団体) ※将来構想施策指標		
活動	単位	団体		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	6	9	12
	実績値	15	21	
指標 2	指標名	文化芸術事業への参加者数		
	説明	市民が参加した文化芸術事業の参加者数。(前年度比5%増を目標値とする)。令和3年度は、アートフェスタがオンライン配信になり、公共施設の利用制限(50%稼働)が出された期間もあったが過去の実績水準に徐々に近づいている。 ※将来構想施策指標		
成果	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	5,340	5,600	5,880
	実績値	0	3,202	
指標 3	指標名	市民と文化芸術をつなぐコーディネーター育成数		
	説明	学校等と芸術家を結び、事業の企画・運営・実施等を芸術家とともに支援するコーディネーターの育成数を指標とした。※平成30年度に新規で設定した指標。新型コロナウイルス感染症の拡大を受け育成数を大幅に増やすことはできなかったが、令和3年度はアウトリーチ研修会(動画作成)を行うなど引き続き指標を目標に育成を図っていく。※将来構想施策指標		
成果	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	8	8	8
	実績値	2	3	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>新型コロナウイルス感染症対策として公共施設利用制限での来場者数制限やオンライン配信開催など、事業開催には厳しい状況だったが、多様な事業を展開し市民に文化芸術に触れる機会を創出できた。</p> <p>(1) アートフェスタふじみ野2021(実行委員会への委託事業として実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施団体: ふじみ野市音楽家協会、包括連携協定大学等(文京学院大、東邦音楽大学)、大井中学校、大井東中学校、大井西中学校、KDDI総合研究所、産業文化センター他 ・実施日時: 動画配信 10作品(107人)11月8日(月)~30日(火) 視聴回数3,930回 ライブ配信 8作品(54人)11月28日(日) 視聴回数1,349回(録画再生含) ・年間視聴数 18,808回、チャンネル登録者数 371人 <p>(2) ステラ・イースト魅力発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホール活用事業 2回 来場者数1,093人 ・アート系ワークショップ 8回 参加者407人(延べ) <p>(3) KDDI総合研究所共催リビングラボ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会・未来創造ラボ参加者 12回165人 ・未来創造ラボワークショップ 1回12人 <p>(4) 文化芸術未来応援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度延期事業 3件 495人 ・令和3年度新規事業 3件 669人 <p>(5) 文化芸術チャレンジ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請者3名 <p>(6) アウトリーチ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施校 福岡小学校4年生3クラス 90人 派遣アーティスト2名(フルート・チェンバロ) ・アウトリーチ研修会(動画作成) 参加者10名 <p>(7) アート発見発信プロジェクト(VoI.7)</p> <p>市内で活躍するアーティストなどを市民編集員が取材し冊子に取りまとめた。</p>
--------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	平成30年度から始まった「ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030」の取組みと「ふじみ野市文化振興計画」を連動させ施策を体系的に実施し、実績をあげることで将来構想を着実に実行していく。今年度は新型コロナウイルス感染防止対策マニュアルを作成し、ホール事業など中止しないで実施を進めた。また感染状況によりYouTubeを活用しアートフェスタを開催するなど事業を工夫し、様々な文化芸術に触れる機会を市民に提供した。来年度は、第1期文化振興計画の最終年度かつ第2期文化振興計画策定の年になるため、地域で活躍するアーティストの力を最大限発揮できる企画提案型委託事業等を新規で取り入れ、アーティストの人材育成にも取り組んでいく。
中長期的方向性	また、市の魅力の発信・活用として、アート発見発信プロジェクト、市民ギャラリー活用事業など、様々な文化芸術事業を通じ、文化の次世代への継承と市民文化の醸成を推進し、新たな文化施設活用への基盤づくりと市民の心の豊かさ、元気健康づくりにつなげる。
拡充	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	文化施設整備事業		前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	06 文化 ー魅力の発信と人々の交流を通し、未来につながる文化を創造するまちを目指しますー		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費			
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世	
事務事業期間	平成30年度～	評価日	令和4年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	文化芸術基本法、文化・スポーツ振興条例、文化振興計画、ふじみ野市文化施設等の整備に係る方針、ふじみ野市文化施設基本構想・基本計画、ふじみ野市文化施設管理運営計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	同規模のホールを有する複数の公民館等の文化施設が耐震性の不足、躯体の老朽化、ホールの特定天井など市民の文化活動施設として早急に整備することが求められており、複合化、改築、大規模改修等の整備方針及び整備手法を「ふじみ野市文化施設基本構想・基本計画」としてまとめ、整備事業を推進するものである。		
	事務事業の経緯	政策分野において、平成22年9月「公共施設適正配置計画」策定後、平成28年度「公共施設適正配置計画一部見直し業務報告書」、平成29年度「文化施設等の整備に係る方針」、「公共施設適正配置計画の検証結果及び施設整備・維持管理の今後の方針」などを策定し、それらの方針を受け、令和元年6月に「文化施設基本構想・基本計画」、令和2年3月に「文化施設管理運営計画」を策定した。		
	事務事業の概要	平成28年度に実施した「公共施設適正配置計画一部見直し業務報告書」及び平成29年度「文化施設等の整備に係る方針」に基づき、平成30年度に整備内容の検討を行い、最終的に大井中央公民館（大井図書館含む）、勤労福祉センターについては建て替え、上福岡公民館・コミュニティセンターは大規模改修を行う。 また、整備した文化施設の管理運営の指針となる「文化施設管理運営計画」を令和2年3月に策定したことから、計画に基づき文化施設の維持管理及び運営の準備を進める。		
	令和3年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ステラ・イースト多目的棟のリニューアルオープン（令和3年4月1日～） 令和3年2月に旧上福岡公民館・コミュニティセンターの大規模改修工事が完了し、DIYルームや音楽スタジオなど新たな機能を備えたステラ・イーストがリニューアルオープンした。 ・（仮称）西地域文化施設の整備（令和2年6月～令和5年6月） 令和3年3月に旧大井中央公民館の解体に着手し、同年11月5日に解体工事が完了した。解体工事完了から年度末にかけて、山留工事及び地盤改良工事、地下の配筋工事等を実施した。 ・文化施設設置条例の一部を改正する条例の議会上程 令和4年3月議会に条例の一部を改正案を上程し、西文化施設に係る規定等を追加した。 		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.60	0.80	1.20
		人件費	12,892	6,359	9,538
	再任用職員	従事人数(人)	1.50	0.70	0.70
		人件費	7,952	3,542	3,542
会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00	
	人件費	0	0	0	
人件費計		20,844	9,901	13,080	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	1,249	119	352	
	委託料	50,230	16,137	57,085	
	使用料及び賃借料	0	0	10	
	工事請負費	744,084	473,415	3,377,547	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	276,023	933	49		
支出合計		1,092,430	500,505	3,448,123	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	353,094	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	595,000	405,500	2,566,100
		基金	74,643	71,050	855,552
		その他	0	0	0
一般財源		69,693	23,955	26,471	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		608	209	227	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	(仮称) 東地域文化文化施設多目的棟整備事業の進捗率		
	説明	・ (仮称) 東地域文化施設多目的棟の整備事業の進捗率を指標とする。(事業費の割合から進捗率を算出)		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	100.00	0.00	0.00
	実績値	100.00	0.00	
指標 2	指標名	(仮称) 西地域文化施設整備事業の進捗率		
	説明	・ (仮称) 西地域文化施設の整備事業の進捗率を指標とする。(事業費の割合から進捗率を算出)		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	1.00	15.00	75.00
	実績値	0.70	12.00	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>(1) ステラ・イースト多目的棟大規模改修工事</p> <p>①改修期間 令和2年4月1日～令和3年2月19日</p> <p>②新たな機能及び安全対策等 DIYルームやキッズルーム、音楽スタジオ、ダンススタジオなど新たな機能を設けた。歩行者と車両の動線を分け、新型コロナウイルス感染症対策として網戸を設置した。また、停電時にも電気が利用できる部屋や断水時には受水槽から直接水を利用できるなど災害拠点としての機能も強化した。</p> <p>(2) (仮称) 西地域文化施設の整備</p> <p>①基本設計 5月～12月にかけて、整備に向けた協議を行い、令和3年1月に基本設計が完了した。</p> <p>②拡張用地の取得 令和元年9月に売買予約契約を締結した拡張用地について、令和2年11月に売買契約を締結した。</p> <p>③中央公民館の解体工事 令和3年3月に旧大井中央公民館の解体に着手し、同年11月に解体工事が完了した。</p> <p>④実施設計 基本設計完了後に実施設計を行い、令和4年3月に実施設計が完了した。</p> <p>⑤新築工事 令和3年11月から令和4年3月にかけて、山留工事及び地盤改良工事、地下の配筋工事等を実施した。</p> <p>(3) ふじみ野市立文化施設条例の一部を改正する条例を令和4年3月議会に上程</p> <p>①西文化施設(ふじみ野市大井中央二丁目1番4号、8号)の追加及び使用料の設定等</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	令和元年度に策定した文化施設基本構想・基本計画に基づき、市民の生涯学習活動、市民活動、文化芸術活動、コミュニティ活動の拠点施設とするため、令和2年度に旧上福岡公民館・コミュニティセンターの大規模改修工事を行い、ステラ・イーストとして令和3年4月にリニューアルオープンした。また、(仮称)西地域文化施設については、令和3年度に西地域文化施設の実施設計を進めるとともに、令和3年11月に旧大井中央公民館の解体工事が完了し、令和5年8月の完成に向けて整備を進めている。
中長期的方向性	
拡充	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		文化施設管理運営事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～			
	施策	06 文化 ー魅力の発信と人々の交流を通し、未来につながる文化を創造するまちを目指しますー			
予算費目 一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費					
所管部課		市民活動推進部 文化・スポーツ振興課		評価責任者	吉村 敏世
事務事業期間		令和2年度～		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等 文化芸術基本法、文化・スポーツ振興条例、文化振興計画、ふじみ野市立文化施設条例、ふじみ野市文化施設管理運営計画					
事務事業の内容	事務事業の目的	文化芸術、生きがい学習、生涯学習の拠点として、市内全域からたくさんの方が集まり、「行ってみたい楽しかった」「また行きたい」と感じられる「ふじみ野の文化と人の交流の拠点」として施設の運営維持管理を行う。			
	事務事業の経緯	平成30年度から産業文化センターの管理が産業振興課から文化・スポーツ振興課に移管された。また、令和3年2月19日にふじみ野ステラ・イースト多目的棟の大規模改修工事が完了し、令和3年4月から文化・スポーツ振興課で施設の管理を行う。			
	事務事業の概要	産業文化センターは平成21年度に指定管理者制度を導入し施設の運営管理を行っている。毎月1回モニタリングを行い施設管理及び事業実施状況の点検等を行っている。令和3年度からは、大規模改修工事でリニューアルしたステラ・イーストの維持管理を行う。			
	令和3年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・産業文化センター 毎月1回行っているモニタリングを通して、施設の維持管理及び事業実施の状況の確認を行う。今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しながら運営を行った。 ・ステラ・イースト 令和3年4月にリニューアルオープンしたことから、施設の利用受付、設備、備品の使用方法などマニュアルを作成した。また、毎月1回実施しているモニタリングを通して、施設の維持管理の状況確認を行った。今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、緊急事態宣言等に対応した運営を行った。 			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.10	1.90	0.60
		人件費	806	15,102	4,769
	再任用職員	従事人数(人)	0.10	1.00	2.50
		人件費	531	5,060	12,650
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		1,337	20,162	17,419	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	2,859	7,748	17,898	
	委託料	2,528	62,238	72,974	
	使用料及び賃借料	0	123	269	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費※	9	4,992	592	
支出合計		6,733	95,263	109,152	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	1,273	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	5,528	7,506
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	14,831
		その他	86	113	48
一般財源		5,374	89,622	86,767	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		47	784	744	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員(産休代替等除く)の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	(仮称)東地域文化施設多目的棟施設利用者数		
	説明	改修前の上福岡公民館・コミュニティセンターの利用者数(51,913人)から毎年1%増加の増加を目指していく。 ※地域再生計画目標値(目標最終年:令和6年度)		
活動	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	0	52,413	52,913
	実績値	0	43,546	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>○産業文化センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策 令和3年4月から10月下旬まで利用人数や施設利用の制限などの感染症対策を徹底して自主事業及び貸館等を実施し、市民文化の向上及び産業の振興に努めた。 <指定管理者において行った利用者の利便性向上対策> WI-FI環境の整備、電灯のLED化、多目的トイレ等の温水温便座交換工事、利用回数の多い利用者への利用料割引 <p>○ステラ・イースト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策 新型コロナウイルス感染症の対策としてガイドラインの作成を行い、感染症対策を徹底して施設の貸出しを行った。 ・施設の維持管理 多目的棟については、「ふじみ野市文化施設整備事業」で選定されたSPCが施設の維持管理(日常清掃を除く)を行い、令和4年2月13日に実施した定期巡回点検では施設、設備に異常はなかった。 ホール棟は、多目的棟と一体的に管理することで効率的かつ安全に施設管理が行えることから、令和2年12月議会で債務負担行為を設定し、SPCの施設維持管理企業に施設の維持管理を委託している。 施設の点検で異常のあった箇所について適切に修繕を実施した。 【修繕箇所】 電灯分電盤修繕、誘導灯修繕、天井照明回路修繕 ・R3年度施設利用者数 多目的棟 43,546人、ホール棟 8,249人、集会室 4,178人
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	平成30年度から産業文化センターの管理が、文化・スポーツ振興課に移管され、令和3年度からはステラ・イースト(旧上福岡公民館・コミュニティセンター、勤労福祉センター)を管理している。 新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、通常通りの施設運営ができない中、検温や消毒を徹底するなど感染症拡大防止対策を図りながら、文化芸術、生きがい学習、生涯学習を行うための「ふじみ野の文化と人の交流拠点」として、文化や学びに触れる環境を提供する。
中長期的方向性	また、令和5年度に完成するステラ・ウエスタの開館に向けた準備を進める。
拡充	